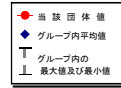


(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

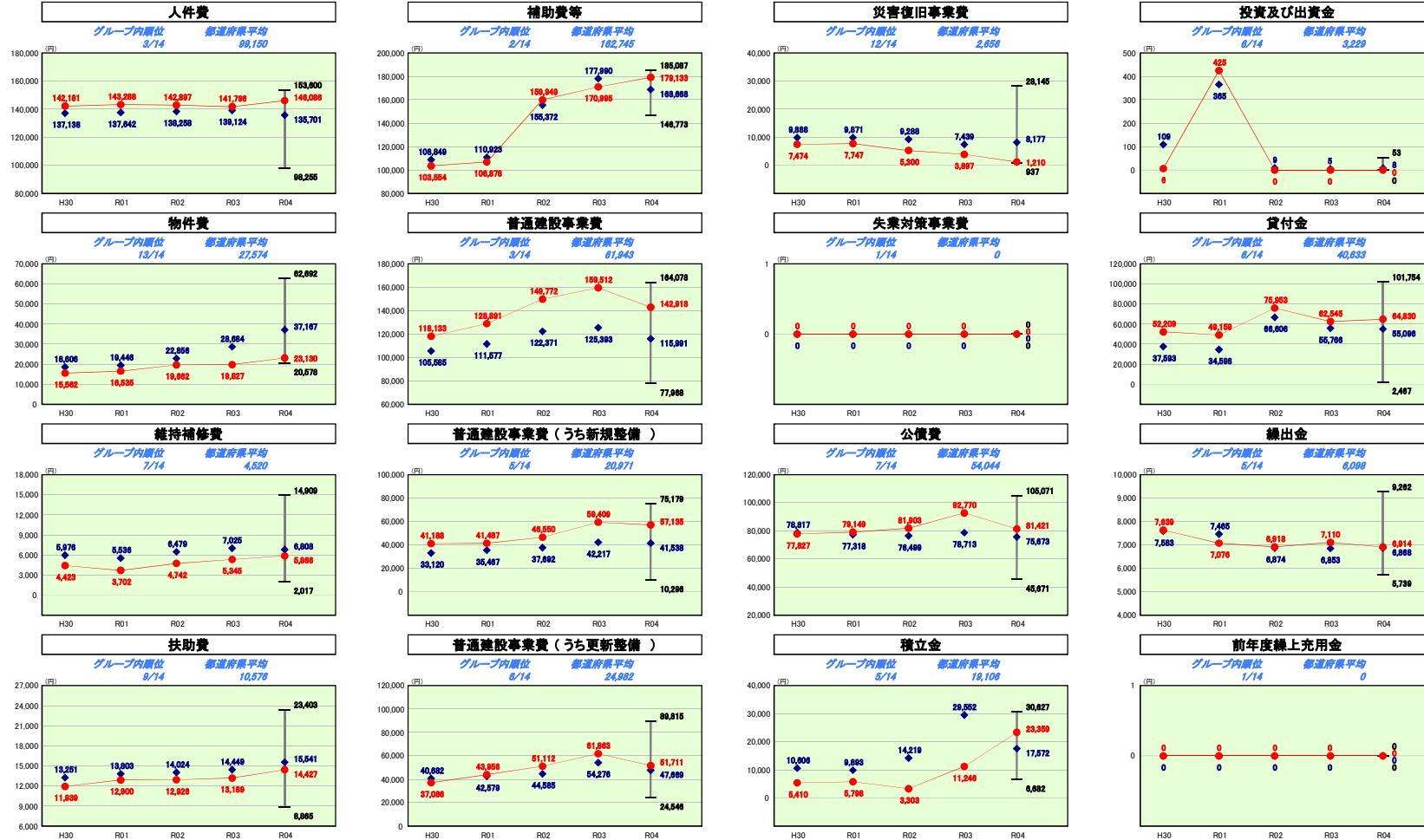
令和4年度

和歌山県

人口	924,469人(05.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	916,597人(05.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	4,724.69km ²	実質公債費比率	8.4	%
歳入総額	682,895,167千円	特異負担比率	200.1	%
歳出総額	637,231,552千円	グループ	H30 R01 R02 R03 R04	
実質収支	18,125,409千円	(年度毎)	R03 R04	R02 R04
標準財政規模	305,574,796千円			
地方債現在高	1,067,379,832千円			



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって3つに分類したものである。
 (Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 令和4年度の歳出決算総額に対する住民一人当たりのコストは、689千円となっており、前年度の688千円と比べ1千円の増加となっている。
 前年度との比較では、普通建設事業費が防災・減災、国土強靱化の推進に係る公共事業や災害復旧事業の減少等により16,594円の減少、公債費が前年度に多額の繰上償還を行っていたため13,349円の減少となっている。一方、積立金が公債費臨時対策基金等の創設・積立等により12,113円の増加、補助費がわかやまフレッシュプランSや営業時間短縮要請協力金の増加等により8,138円の増加となっている。